レディーミクストコンクリート配合計画書

令和　8 年　4 月　1 日

中国レミテック㈱　殿

中国レミテック株式会社
三 次 工 場
広島県三次市吉舎町敷地1番地

配合計画者名　保 本 憲 昭

工事名称	自社
所在地	三次市吉舎町敷地１番地
納入予定時期	
本配合の適用期間	4/1～6/20、9/11～11/20の期間は標準配合。左記以外の期間は備考欄に記述
コンクリートの打込み箇所	

配合の設計条件

呼び方	ｺﾝｸﾘｰﾄの種類による記号	呼び強度	ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ cm	粗骨材の最大寸法 mm	ｾﾒﾝﾄの種類による記号
	普通	24	8	40	BB

指定事項（必須）	セメントの種類	呼び方欄に記載	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	
	骨材の種類	使用材料欄に記載	ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応抑制対策の方法	BB	
指定事項（任意）	骨材のｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分	使用材料欄に記載	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの単位容積質量	－	kg/㎥
	舗装コンクリートの強度試験方法	曲げ強度 ・ 圧縮強度	コンクリートの温度	最高・最低 －	℃
	水の種類	上澄水・地下水	水セメント比及び／又は水結合材比の目標値の上限	60	%
			単位水量の目標値の上限	－	kg/㎥
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限	－	kg/㎥
	塩化物含有量	0.30 kg/㎥以下			
	呼び強度を保証する材齢	28 日	流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量	－	cm
	空気量	4.5 %			

使用材料

セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社			密度 g/cm³	3.04	Na_2Oeq % －
混和材①	製品名	－	種類	－	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq % －
混和材②	製品名	－	種類	－	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq % －

骨材	No.	種類	産地又は品名	ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分 区分	試験方法	粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm³ 絶乾	表乾	微粒分量の範囲 %
細骨材	①	加工砂	仁多郡奥出雲町	A	ﾓﾙﾀﾙﾊﾞｰ法	5以下	2.64	－	2.56	－
	②	砕砂	庄原市西城町大佐	A	化学法	5以下	2.71	－	2.67	7.0±2.0
	③	－	－	－	－	－	－	－	－	－
粗骨材	①	砕石	庄原市西城町大佐	A	化学法	15～ 5	6.35	－	2.72	0.5±0.5
	②	砕石	庄原市西城町大佐	A	化学法	20～15	6.98	－	2.72	0.5±0.5
	③	砕石	三次市布野町上布野	A	化学法	40～20	7.95	－	2.72	0.5±0.5

	製品名	種類	Na_2Oeq %
混和剤①	レオシュアー700	AE減水剤標準形1種	－
混和剤②	－	－	－
混和剤③	－	－	－

細骨材の塩化物量	① 0.000 % ② －	水の種類	上澄水・地下水	目標ｽﾗｯｼﾞ固形分率	－ %
回収骨材の使用方法	細骨材 －	粗骨材	－	ｽﾗｯｼﾞ水の使用方法	－

配合表 (kg／㎥)

セメント	混和材①	混和材②	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	混和剤③
274	－	－	159	652	163	－	212	318	531	2.329	－	－

水セメント比	58.0 %	水結合材比	－ %	細骨材率	44.8 %

細骨材混合比(質量)　加工砂:砕砂=80:20
粗骨材混合比(質量)　砕石1505:砕石2010:砕石4020=20:30:50

備考　次に示す適用期間の間は修正標準配合として、混和剤①の単位量のみ変更致します。
夏期適用期間の間、混和剤①は遅延形を使用する。
夏期6月21日～9月10日 +10%　冬期11月21日～3月31日 -10%
骨材の質量配合割合，混和剤の使用量については，断りなしに変更する場合がある。

レディーミクストコンクリート配合計画書

令和　8 年　4 月　1 日

中国レミテック㈱　殿

中国レミテック株式会社
三次工場
広島県三次市吉舎町敷地1番地

配合計画者名　保本憲昭

工事名称	自社 夏期修正配合
所在地	三次市吉舎町敷地１番地
納入予定時期	
本配合の適用期間	6/21～9/10の期間は夏期修正配合
コンクリートの打込み箇所	

配合の設計条件

呼び方	ｺﾝｸﾘｰﾄの種類による記号	呼び強度	ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ cm	粗骨材の最大寸法 mm	ｾﾒﾝﾄの種類による記号
	普通	24	8	40	BB

指定事項（必須）	セメントの種類	呼び方欄に記載	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	
	骨材の種類	使用材料欄に記載	ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応抑制対策の方法	BB	
指定事項（任意）	骨材のｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分	使用材料欄に記載	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの単位容積質量	－	kg/m³
	舗装コンクリートの強度試験方法	曲げ強度 ・ 圧縮強度	コンクリートの温度	最高・最低 －	℃
	水の種類	上澄水・地下水	水セメント比及び／又は水結合材比の目標値の上限	60	%
			単位水量の目標値の上限	－	kg/m³
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限	－	kg/m³
	塩化物含有量	0.30 kg/m³以下			
	呼び強度を保証する材齢	28 日	流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量	－	cm
	空気量	4.5 %			

使用材料

セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社		密度 g/cm³	3.04	Na_2Oeq %	－
混和材①	製品名	－	種類 －	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq %	－
混和材②	製品名	－	種類 －	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq %	－

骨材	No.	種類	産地又は品名	ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分 区分	試験方法	粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm³ 絶乾	表乾	微粒分量の範囲 %
細骨材	①	加工砂	仁多郡奥出雲町	A	ﾓﾙﾀﾙﾊﾞｰ法	5以下	2.64	－	2.56	－
	②	砕砂	庄原市西城町大佐	A	化学法	5以下	2.71	－	2.67	7.0±2.0
	③	－	－	－	－	－	－	－	－	－
粗骨材	①	砕石	庄原市西城町大佐	A	化学法	15～ 5	6.35	－	2.72	0.5±0.5
	②	砕石	庄原市西城町大佐	A	化学法	20～15	6.98	－	2.72	0.5±0.5
	③	砕石	三次市布野町上布野	A	化学法	40～20	7.95	－	2.72	0.5±0.5

	製品名	種類	Na_2Oeq %
混和剤①	レオシュアー700	AE減水剤標準形1種	－
混和剤②	－	－	－
混和剤③	－	－	－

細骨材の塩化物量	① 0.000 % ② －	水の種類	上澄水・地下水	目標ｽﾗｯｼﾞ固形分率	－ %
回収骨材の使用方法	細骨材 －	粗骨材	－	ｽﾗｯｼﾞ水の使用方法	－

配合表 (kg／m³)

セメント	混和材①	混和材②	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	混和剤③
274	－	－	159	652	163	－	212	318	531	2.562	－	－

水セメント比	58.0 %	水結合材比	－ %	細骨材率	44.8 %

細骨材混合比(質量)　加工砂:砕砂=80:20
粗骨材混合比(質量)　砕石1505:砕石2010:砕石4020=20:30:50

備考　次に示す適用期間の間は修正標準配合として、混和剤①の単位量のみ変更致します。
夏期適用期間の間、混和剤①は遅延形を使用する。
夏期6月21日～9月10日 +10%　冬期11月21日～3月31日 -10%
骨材の質量配合割合，混和剤の使用量については，断りなしに変更する場合がある。

レディーミクストコンクリート配合計画書

令和　8 年　4 月　1 日

中国レミテック㈱　殿

中国レミテック株式会社
三次工場
広島県三次市吉舎町敷地1番地

配合計画者名　保本憲昭

工事名称	自社　冬期修正配合
所在地	三次市吉舎町敷地１番地
納入予定時期	
本配合の適用期間	11/21～3/31の期間は冬期修正配合
コンクリートの打込み箇所	

配合の設計条件

呼び方	ｺﾝｸﾘｰﾄの種類による記号	呼び強度	ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ cm	粗骨材の最大寸法 mm	ｾﾒﾝﾄの種類による記号
	普通	24	8	40	BB

指定事項（必須）	セメントの種類	呼び方欄に記載	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	
	骨材の種類	使用材料欄に記載	ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応抑制対策の方法	BB	
指定事項（任意）	骨材のｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分	使用材料欄に記載	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの単位容積質量	－	kg/m³
	舗装コンクリートの強度試験方法	曲げ強度 ・ 圧縮強度	コンクリートの温度	最高・最低 －	℃
	水の種類	上澄水・地下水	水セメント比及び／又は水結合材比の目標値の上限	60	%
			単位水量の目標値の上限	－	kg/m³
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限	－	kg/m³
	塩化物含有量	0.30 kg/m³以下			
	呼び強度を保証する材齢	28 日	流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量	－	cm
	空気量	4.5 %			

使用材料

セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社			密度 g/cm³	3.04	Na_2Oeq % －
混和材①	製品名	－	種類	－	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq % －
混和材②	製品名	－	種類	－	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq % －

骨材	No.	種類	産地又は品名	ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分 区分	試験方法	粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm³ 絶乾	表乾	微粒分量の範囲 %
細骨材	①	加工砂	仁多郡奥出雲町	A	ﾓﾙﾀﾙﾊﾞｰ法	5以下	2.64	－	2.56	－
	②	砕砂	庄原市西城町大佐	A	化学法	5以下	2.71	－	2.67	7.0±2.0
	③	－	－	－	－	－	－	－	－	－
粗骨材	①	砕石	庄原市西城町大佐	A	化学法	15～ 5	6.35	－	2.72	0.5±0.5
	②	砕石	庄原市西城町大佐	A	化学法	20～15	6.98	－	2.72	0.5±0.5
	③	砕石	三次市布野町上布野	A	化学法	40～20	7.95	－	2.72	0.5±0.5

	製品名	種類	Na_2Oeq %
混和剤①	レオシュアー700	AE減水剤標準形1種	－
混和剤②	－	－	－
混和剤③	－	－	－

細骨材の塩化物量	① 0.000 % ② －	水の種類	上澄水・地下水	目標ｽﾗｯｼﾞ固形分率	－ %
回収骨材の使用方法	細骨材 －	粗骨材	－	ｽﾗｯｼﾞ水の使用方法	－

配合表 (kg／m³)

セメント	混和材①	混和材②	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	混和剤③
274	－	－	159	652	163	－	212	318	531	2.096	－	－

水セメント比	58.0 %	水結合材比	－ %	細骨材率	44.8 %

細骨材混合比(質量)　加工砂:砕砂=80:20
粗骨材混合比(質量)　砕石1505:砕石2010:砕石4020=20:30:50

備考　次に示す適用期間の間は修正標準配合として、混和剤①の単位量のみ変更致します。
夏期適用期間の間、混和剤①は遅延形を使用する。
夏期6月21日～9月10日 +10%　冬期11月21日～3月31日 -10%
骨材の質量配合割合，混和剤の使用量については，断りなしに変更する場合がある。